

令和6年

岡山県自主パトロール隊通信（第6号）

令和6年6月13日

岡山県警察本部

今回は、新見警察署管内の『高尾地区防犯組合連合会』と赤磐警察署管内の『地域安全推進員署所在地班』を紹介します。

1 高尾地区防犯組合連合会（新見警察署管内）

(1) 発足

昭和61年11月18日

(2) 組織構成

代表者 吉岡 昇 構成員約200名

(3) 発足の経緯

活動する地区は、新見市の中心部に位置し、スーパー、飲食店、コンビニエンスストア等が多く、非行少年のたまり場となりやすい場所も複数存在することから、「街頭犯罪の予防と少年の健全育成」をスローガンに、地域住民の防犯意識の高揚と青少年健全育成を目的として発足しました。



(4) 活動状況

夏休み、冬休み等の学校休暇や地域安全運動期間を中心に、関係機関と協働して、地元小学生と共に夜間パトロールを行うなど、犯罪抑止活動の推進に加えて、青少年の防犯意識向上を図っています。

また、犯罪の未然防止に向けた活動を積極的に実施しており、危険箇所や要注意場所を調べるなどの防犯診断や、防犯灯などの防犯機器チェックを定期的に行い、地域の安全安心の維持に努めています。

さらに、子供たちの安全安心を守るために、地元小学校の新入学生へ「防犯ブザー・LEDライト」等を配布するなど、効果的な防犯活動を実践しています。

(5) 今後の活動

会長を中心に組合員が一致団結して「自分たちの地域は自分たちで守る」との意識の下、関係機関と緊密な情報共有を図りながら、地域の実情に合わせた防犯活動を行い、今後も安全・安心な地域づくりのために、継続的な活動を実施する予定です。



2 地域安全推進員 署所在地班（赤磐警察署管内）

(1) 発足
平成9年7月

(2) 組織構成
班長 岡本 輝彦 以下4名

(3) 発足の経緯
地域の防犯意識を高め、治安をより良くするために始めました。

瀬戸町江西学区は、主要道路のほか山陽自動車道山陽ICや山陽本線JR瀬戸駅があるため、車や人の行き来が非常に多い地域です。

そのため、発足当時はJR瀬戸駅が不良少年の溜まり場となっただけでなく、駅周辺の自転車の盗難等多発していたことから「この状況を改善したい」という思いで各自地区の区長が集まり、現在の活動に至っています。

(4) 活動状況

主な活動は各種見守り活動や啓発活動で、毎月第3木曜日にJR瀬戸駅やその周辺の夜間パトロールを実施し、少年への声かけや各種犯罪被害防止等の広報啓発活動を行っています。

今では不良少年のたまり場も解消され、盗難も減少されたので、少しは地域に貢献できているのかなと思っています。

(5) 今後の活動

今後も体が動く限り、長く細く元気よく、地道に活動を続けていきたいと思っています。



～警察本部からのお知らせ～

本年5月、岡山県防犯協会通常総会が開催され、総会の冒頭で防犯功労団体10団体、防犯功労者15名の表彰を行いました。

受賞された皆さん、誠におめでとうございます。防犯ボランティアの皆さんは、各地区の安全の要です。

今後とも、積極的な活動をよろしく願います。

